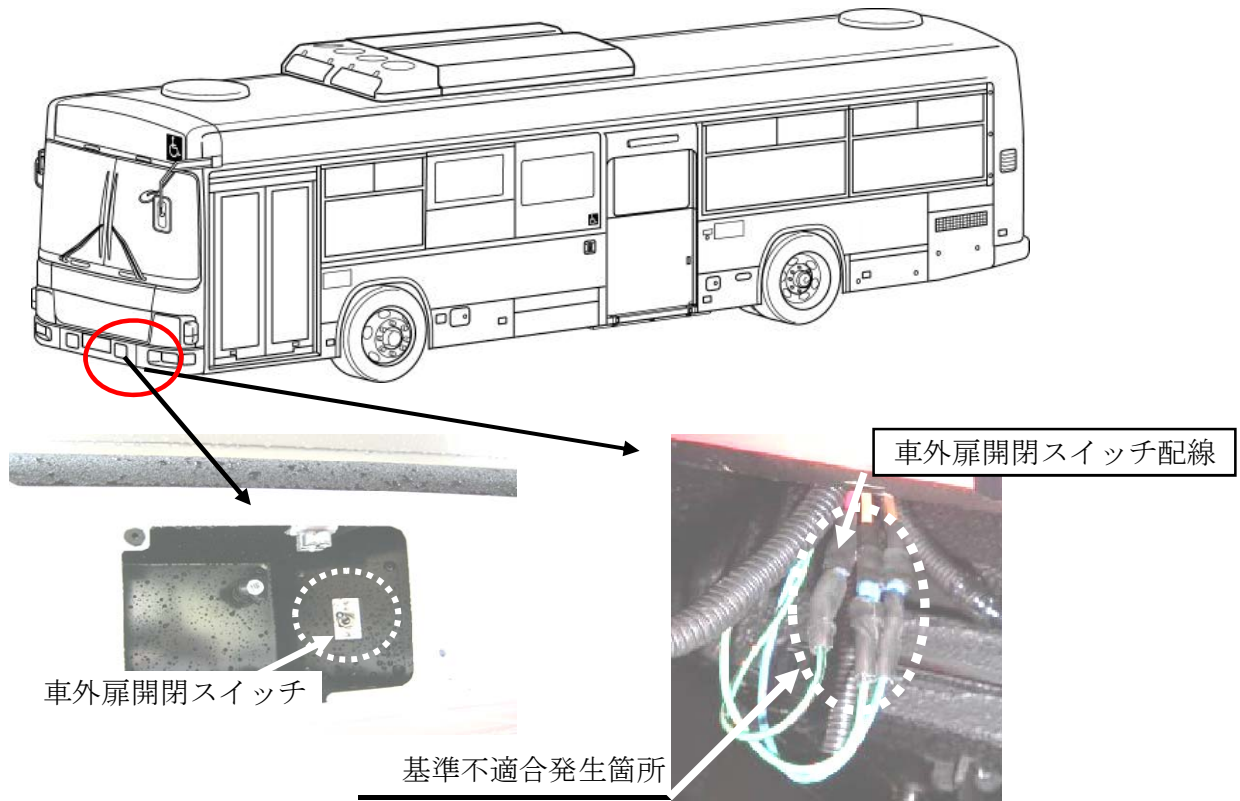
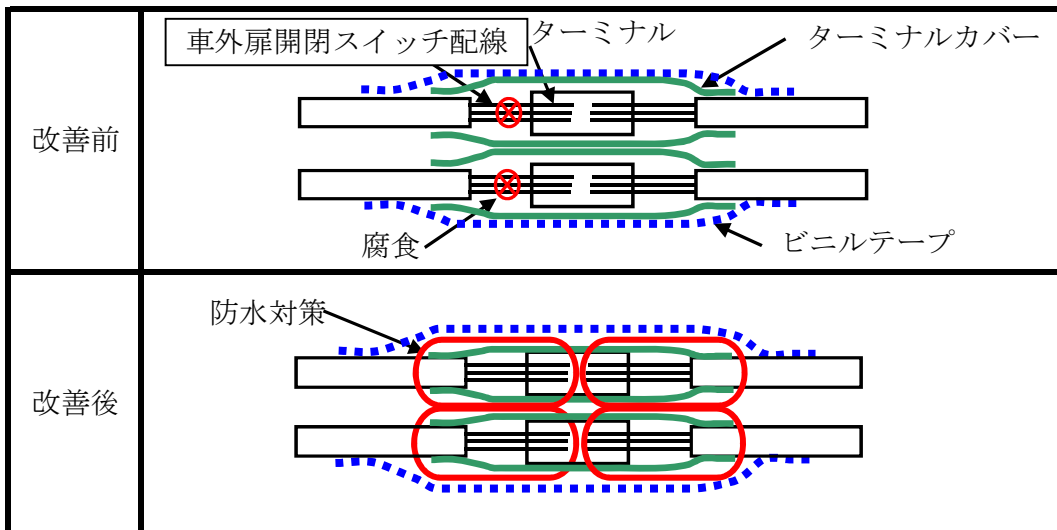


改善箇所説明図②



路線バスの車外扉開閉スイッチにおいて、当該スイッチ配線の接続部の防水処理が不適切なため、配線内部に水が浸入するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該配線が腐食・断線し、最悪の場合、車外扉開閉スイッチ及び運転者席の扉開閉スイッチで、扉の開閉ができなくなるおそれがある。

車外扉開閉スイッチ配線の接続部



改善の内容：

全車両、車外扉開閉スイッチ配線の接続部の防水処理状態を点検し、不適切なものは防水対策を実施する。また、配線に腐食が見られるものは、配線を修理する。

識別：運転者席左側ドア開口部のシリアルナンバープレート付近に白色シールを貼付する。

注： は対策部品または修理部品を示す。